

北海道に生息するゼニガタアザラシの 個体数調査（センサス）及び普及活動

ゼニガタアザラシ研究グループ（帯広畜産大学）

ゼニガタアザラシ研究グループとは、帯広畜産大学でゼニガタアザラシを調査・研究しているサークルです。

【活動背景】

ゼニガタアザラシは準絶滅危惧種に指定されているアザラシです。現在では個体数が増加し、アザラシによる漁業被害（食害）が問題視されており、個体数の把握が求められています。



【助成金の用途・活動結果】

助成金では、個体数調査に必要な機材（プロミナ）や、寝袋や双眼鏡を共用備品として購入しました。旧プロミナでは視認不可能であった遠い岩場の個体や、アダルトとパップの判別の精度が上昇し、制度の高い調査が可能となりました。また、金銭的な負担が減り調査に参加しやすくなり、新入生の調査への参加率が上がるという成果もありました。

【活動目的】

ゼニガタアザラシの個体数調査（センサス）を継続して実施して、北海道に生息するゼニガタアザラシの個体数を推定すること。また、行動観察や個体識別により生態を知ること、ゼニガタアザラシの保護、人との共存につなげることが目的です。

【団体からのメッセージ】

1日につき最大4時間アザラシを数え続けるという調査を毎年4回地道に続けています。昨年は助成金をいただき、調査の環境が向上しました。誠にありがとうございます。

